

取扱説明書（保証書付）

車載用ワンセグデジタルチューナー

型番 DT-1500



この度は車載用ワンセグデジタルチューナーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

本製品を安全に正しくお使いいただくためにこの取扱説明書をよくお読みになって下さい。
特に「安全上のご注意」はお使いになる前に必ずお読み下さい。

この取扱説明書の最後には保証書が付いていますのでお読みになったあとも大切に保管して下さい。

保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、販売店からお受け取り下さい。

事故防止のため、運転中は絶対にテレビを見たり操作をしたりしないで下さい。

本製品は日本国内の地上デジタル放送ワンセグ専用となっております。

地上デジタル放送のデータ放送、緊急警報放送の受信には対応しておりません。



目次

●本製品について	3
●商品構成一覧	4
●使用上のご注意	5
●安全上のご注意	6
●快適にお使いいただくために	10
●ご使用の前に	11
●各部のはたらき	12
●アンテナの貼り付け方法	15
●接続方法	18
●チャンネルの設定	20
●テレビを見る	22
●チャンネルリストを見る	24
●番組表を見る	25
●番組内容を見る	26
●音声を切り替える	27
●画面を切り替える	28
●字幕を表示する	29
●故障かなと思ったら	30
●製品仕様	32
●アフターサービス	33
●メモ	34
●保証書	36

本製品について

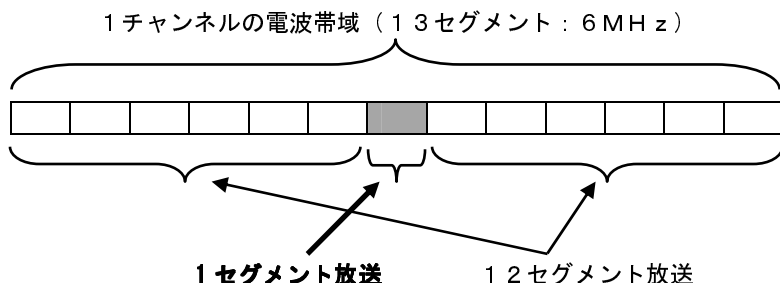
本製品は、カーナビゲーションやカーテレビ等の外部映像・音声入力端子の付いた機器に接続して使うワンセグ地上デジタルTVチューナーです。本製品を使うことによって地上デジタル放送の携帯機器向けの放送（通称：ワンセグ）をご覧になれます。

本製品は、データ放送、緊急警報放送の受信には対応しておりません。

ワンセグとは？

“ワンセグ”とは地上デジタル放送の携帯機器向けの放送です。1チャンネル（6MHz）の帯域を13セグメントに分割し、そのうちの1セグメントを、携帯機器向けに利用していることから“ワンセグ”と呼ばれています。

残りの12セグメントでは固定機器向けにハイビジョン放送や、多チャンネル放送を行っております。

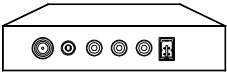

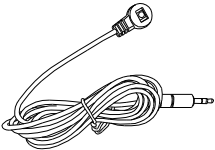

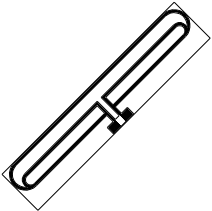
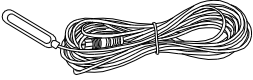
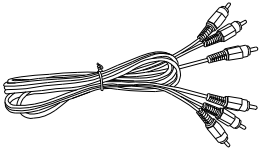




- ・地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、2006年12月にすべての都道府県庁所在地を中心に、放送が開始されました。
ワンセグは、2006年4月に開始され、地上デジタルテレビの放送地域拡大により、順次受信可能なエリアが拡大される予定です。ただし、放送局によっては、ワンセグが放送されない場合があります。
安定した映像と音声、およびデータ放送が特徴です。
- ・ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。
- ・放送波で放送されるワンセグの映像・音声・データ放送の受信は、お申し込みが不要な無料のサービスです。
- ・「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページなどでご確認下さい。

社団法人 地上デジタル放送推進協会 <http://www.d-pa.org/>

商品構成一覧 (取付け前にご確認下さい)

本製品には次のものが同梱されています。設置、接続の前にご確認下さい。()は個数です。万一、足りない場合や破損していた場合は、すぐに販売店までご連絡下さい。

<p>本体 (1)</p> 	<p>リモコン (1) (電池付: CR2025)</p> 	<p>リモコン受光部コード (1) (両面テープ付) 約 3.0m</p> 
<p>電源用コード (1) 約 2.3m</p> 	<p>フィルムアンテナ (1) 約 215x45mm</p> 	<p>アンテナコード (1) 約 5.0m</p> 
<p>映像・音声コード (1) 約 2.0m</p> 	<p>本体固定テープ (1) 80mm</p> 	<p>取扱説明書 (1) (保証書付)</p> 

* 取扱説明書には保証書が付いております。

- 付属品の仕様及び外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- この取扱説明書のイラストや画面はイメージであり、実際と異なる場合があります。



使用上のご注意




- デジタル放送では受信状態が悪くなると、映像のブロックノイズ音声途切れの発生や静止画面となり音声がなくなることがあります。
- 車で移動して受信するため、家庭用に比べて受信可能エリアが狭くなります。また、車の場所や方向、速度、アンテナの取付け位置などにより受信状態が変化します。
- 本製品の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本体やアンテナケーブルの途中に接続している機器に近づけると、その影響により映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用下さい。
- コピーガードがかかっている番組は、録画機器を経由してテレビで視聴すると、正常に受像ができない場合があります。コピーガードがかかっている番組を視聴する場合は、録画機器を経由しないで直接、本製品とテレビを接続して下さい。
- 本製品は日本国内専用です。
外国では放送方式、受信チャンネルが異なりますので使用できません。
- 本製品はワンセグ専用です。
ワンセグ以外の地上デジタル放送、データ放送、緊急警報放送には対応していません。
- ワンセグは携帯機器用の放送のため、接続するテレビやモニターの画面の大きさによって多少画面が粗くなります。
- 本製品には音量調節機能がありません。音量調節は接続したテレビまたはモニター側で調節して下さい。

安全上のご注意 (必ずお守り下さい)

「安全上のご注意」では、お使いになる方や周囲の人への危害と財産の損害を、未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい重要な内容を記載しています。

次の内容（表示・絵表示）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守り下さい。

■表示の説明




表 示	表 示 の 意 味
 危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険がさし迫ることが想定される内容を示します。
 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が負傷を迫る危険が想定されるか、または、物的損害の発生が想定される内容を示します。

* 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

* 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などをさします。

* 物的損害とは、家屋、財産および家畜、ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■絵表示の例

絵 表 示	絵 表 示 の 意 味
	記号は注意（危険・警告を含む）が必要な内容があることを示します。図の中や近くに、具体的な注意内容を示します。（左図の場合は警告または注意）
	記号は禁止の行為であることを示します。図の中や近くに、具体的な禁止内容を示します。（左図の場合は分解禁止）
	記号は必ず守っていただく必要のある内容を示します。図の中や近くに、具体的な指示内容を示します。

危険

運転者は走行中に操作をしたり、画像を見たりしないで下さい

- 走行中に操作をすると、不注意となり事故の原因となります。操作は安全な場所に停車して行って下さい。
- 表示された画面を注視しないで下さい。



運転や視界を妨げたり同乗者に危険を及ぼす場所には、絶対に取付けしないで下さい

運転に支障をきたす場所（シフトレバー、ブレーキペダル付近など）前方・後方の視界を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所への取付けは、交通事故やけがの原因となります。



エアバッグの動作を妨げる場所に置かないこと

エアバッグシステムが正常に動作せず、事故の原因となります。



警告

配線・取付け／取外しは専門技術者にご依頼下さい

取付けと配線は、専門技術と経験が必要です。安全のため、お買い上げの販売店に依頼して下さい。



DC12Vマイナス⊖アース車で使用してください

DC12Vマイナス⊖アース車専用です。大型トラックや、寒冷地仕様のディーゼル車（DC24V車）には使用できません。火災や故障の原因となります。



コード類は運転や乗り降りの妨げにならないように引き回して下さい

ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回したり、まとめたり、固定しておくなどして下さい。事故やけがの原因となります。



取付けには車両の保安部品のボルトやナットを絶対に使用しないで下さい

ステアリングやブレーキなどの保安部品のボルトや、ナットを使用して取付けると、事故の原因となります。



はずれたり・落下しないようにしっかり固定して下さい

ねじがゆるんでいたり接着が弱いと、走行中にはずれる・落下するなど、事故やけがの原因となることがあります。



取付け後・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確認して下さい

車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー）などが正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因となります。



警告

車のパイプ・タンク・電気配線などの位置を確認してから取付けて下さい

車体やダッシュボードに穴を開けて取付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線に干渉や接触しないようにして下さい。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を施して下さい。

火災や感電、事故の原因となります。



指示

故障や異常のまま使用しないで下さい

煙が出る、変なにおいがする等の異常な状態で使用すると発火などの原因となります。

●直ちに使用を中止してお買い上げの販売店にご相談下さい。



禁止

分解や改造はしないで下さい

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

●内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼下さい。



分解禁止

雷が鳴り出したら本体・アンテナ線などには触れないで下さい

感電の原因となります。



接触禁止

ぬらしたりしないで下さい

火災や感電の原因となります。



水ぬれ禁止

異物を入れないで下さい

機器内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないで下さい。火災や感電の原因となります。



禁止

安全のため、必ずパーキングブレーキ入力を正しく配線して下さい

説明に従って正しく配線しないと、安全機能が働かなくなり、交通事故の原因となります。



指示

リモコンの電池は乳幼児の手の届くところに置かないで下さい

あやまって飲み込む恐れがあります。

万一、飲み込んだ場合には、直ちに医師にご相談下さい。



禁止

使用しないコードの先端などは絶縁して下さい

被覆がない部分が車の金属部に接触しないように、テープなどで絶縁して下さい。ショートにより火災や感電の原因となります。



指示

正しく配線を行って下さい

誤った配線をするると発火や事故の原因となります。

特にリード線がねじやシートレールの可動部分にかみ込まないよう整形し固定して下さい。



指示

警告

配線取付け作業中は、必ずバッテリーのマイナス⊖端子をはずして下さい
バッテリーのマイナス⊖端子をつないだまま配線・取付け作業
をすると、ショート事故による感電やけがの原因となります。



指示

注意

車載以外には使用しないで下さい

車載用以外（例えばレジャーボートやアウトドアなど）に使用
すると、発煙、発火、感電やけが、故障の原因となる場合が
あります。



禁止

コードをかみ込ませたり、引っ張ったり傷つけないでください

ショートや断線により発火や故障の原因となることがあります。



指示

振動の多いところや不安定な場所に取付けしないで下さい。

傾いた場所、強い曲面などに取付けると、走行中にはずれる・
落下するなど、事故やけがの原因となることがあります。



禁止

決められたヒューズを使用して下さい

必ず規定のヒューズをご使用下さい。規定以外のヒューズを
使用すると火災や故障の原因となることがあります。



指示

走行中は適正な音量で使用して下さい

車外や周囲の音が聞こえない状態での運転は事故の原因となる
ことがあります。



指示

必ず付属品や指定の部品を使用して下さい

指定以外の部品を使用すると機器の内部を損傷したりしっかりと
固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因となる
ことがあります。



指示

水がかかる所やほこりの多い所に取付けしないで下さい

火災や感電の原因となることがあります。



禁止

**電池を入れるときには、極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に
注意し、指定の電池を使用して下さい**

機器の表示通り正しく入れて下さい。間違えますと電池の破裂
液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることが
あります。



注意

快適にお使いいただくために

本体設置について

■次のところには取付けしないで下さい

水のかかるところ、足で踏まれるところ、およびヒーターのダクトなど温風の近くや、カーペットの下などの熱がこもるところ、直射日光の当たるところや、足元のカーペットの上には取付けしないで下さい。

アンテナ設置について

■次のところには貼り付けしないで下さい

前方の視界を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には貼り付けしないで下さい。

取扱いについて

■エンジンをかけてご使用下さい

エンジンを止めた状態で長時間使用すると、バッテリーが消耗します。

■衝撃を与えないで下さい

本体を落下させる、たたくなどして衝撃を与えると、故障の原因となります。

■リモコンを落としたり、踏みつけたりなど衝撃を与えないで下さい

無理な力をかけると部品がこわれ、故障の原因となります。

■アンテナを取付ける場合は・・・

前方の視界を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には貼り付けしないで下さい。事故やけがの原因となります。

アンテナは取付ける位置によって受信状態が変わります。

免責事項について

■火災、地震や雷などの自然災害、第三者による行為、その他事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は、一切の責任を負いません。

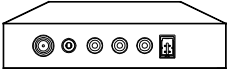
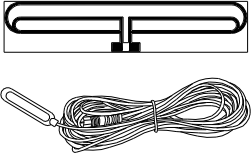
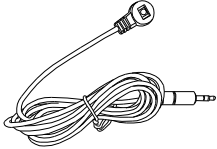

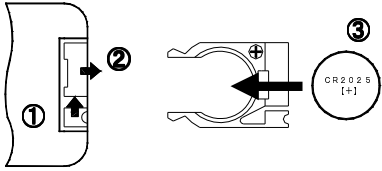
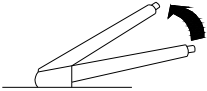
■本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。

■商品に添付の保証書は、当該製品を業務用の車両（バス・タクシー・商用車など）に使用した場合、適用対象にはなりません。

■お客様または第三者が、本製品の使用を誤ったとき、静電気・電気的なノイズの影響を受けたとき、基本プログラム等が変化・消失した場合の補償はできません。

ご使用の前に (ご使用までの流れ)

お買い上げ後、初めてお使いになるときにご準備下さい。

<p>1、本体を車に取付ける</p> 	<p>2、アンテナを貼り付け、コードを取付ける</p> 	<p>3、電源コード・リモコン受光部コードを、接続する</p> 
<p>4、モニターまたはテレビと接続する</p> 	<p>5、リモコンに電池を入れる 電池ホルダーを引出し付属の電池を入れて下さい。</p> <p>【はずし方】</p> 	
<p>6、エンジンをかける パーキングブレーキを引いてから、エンジンをかけて下さい</p> 	<p>7、接続したテレビまたはモニターの電源を入れ入力切替を、本製品に接続した画面にする</p>	<p>9、電池が消耗したときは新品と交換して下さい 交換用電池はリチウム電池「CR2025」をご使用下さい</p>
	<p>8、本体の電源を入れ、チャンネル設定をする (→20ページ)</p>	

これで、基本の接続と設定は終了です。

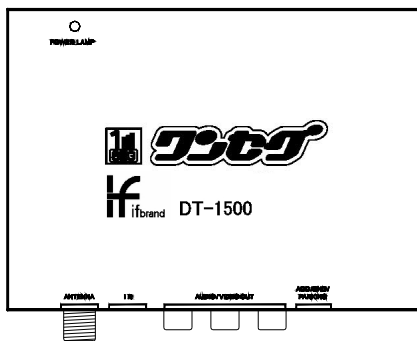
各部のはたらきや、各設定方法をよくお読みになってからご使用下さい。

各部のはたらき

本体の上面

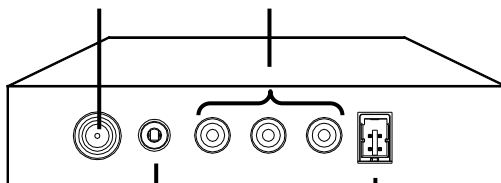
電源表示ランプ

緑色・・・車のACC「ON」の状態
オフ・・・車のACC「OFF」の状態



本体の前面

アンテナコードを接続
映像・音声入力端子のある
映像機器へ接続



リモコン受光部
コードを接続

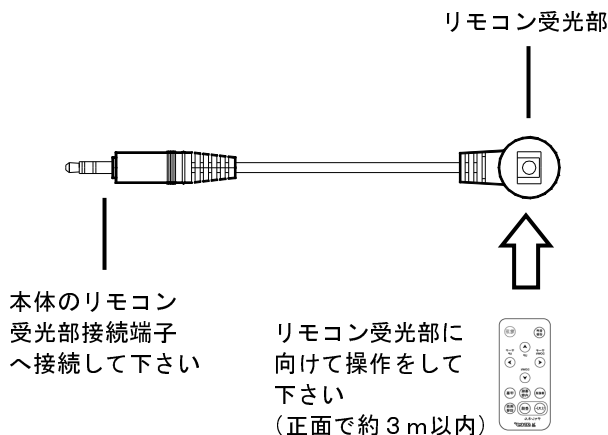
電源用コードを
接続

<ご注意>

- 取付け・配線の際には、車のキースイッチをOFF状態で、バッテリーのマイナス端子を外して下さい。
- アンテナ端子からブースター用の電源が出力されます。アンテナコードを接続する際には、電源用コードをはずした状態で行ってください。

各部のはたらき (つづき)

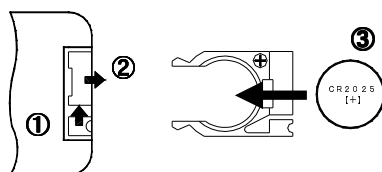
リモコン受光部



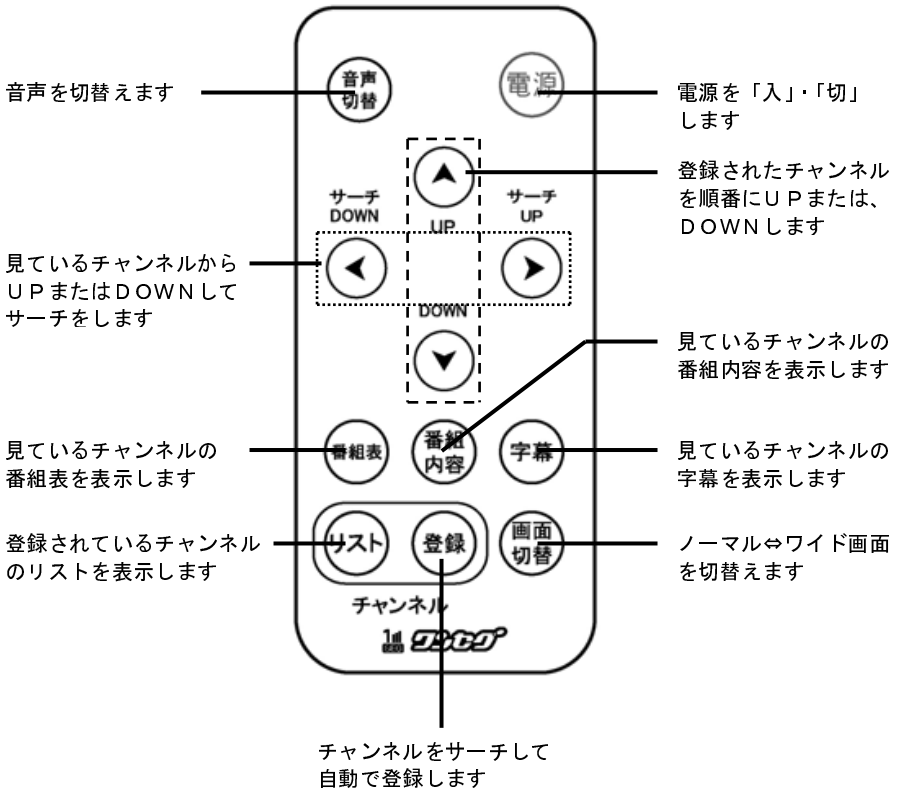
<ご注意>

- リモコン受光部に直射日光や強い照明があたると、リモコンの動作が鈍くなります。リモコン受光部にリモコンを近づけて操作して下さい。リモコンの動作範囲は、リモコン受光部の正面にむけ約3m以内です。
- リモコン受光部とリモコンの間に物を置かないで下さい。動作しなくなる場合があります。
- リモコンを初めてご使用になるときは、リモコン本体に付属の電池を入れてからご使用下さい。

電池ホルダーを引出し電池を入れる



リモコン



! リモコンは直射日光・高温の場所を避けて保管して下さい
 ケースの変形や、内部電池の破損、液漏れの原因となることがあります。

アンテナの貼り付け方法

●貼り付ける前のご注意



アンテナは、前方の視界を妨げる場所や同乗者に危険を及ぼす場所には、貼り付けしないで下さい。事故やけがの原因となります。



アンテナは、はがれないように、しっかりと貼り付けて下さい。走行中にはがれると、事故やけがの原因となります。



コードの引き回しの際には、シートレールやドアにはさみ込まないように注意して下さい。断線の原因となります。



電源コードの接続は、アンテナの配線・取付け作業の最後に行ってください。ショートによる感電や、けがの原因となります。

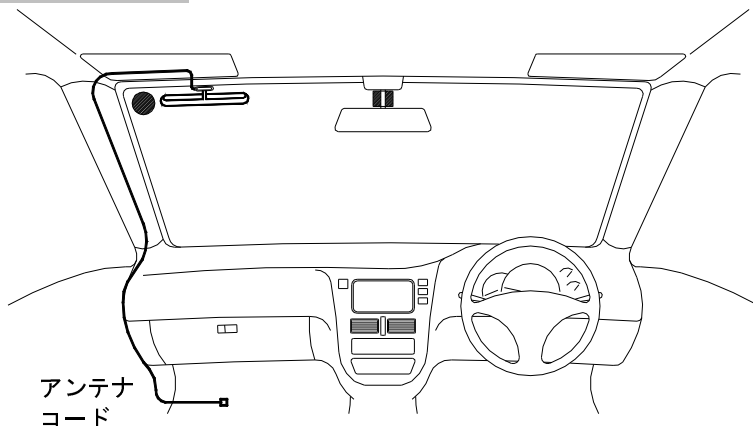


アンテナは、付属されているもの以外は使用しないで下さい。受信状態が悪くなります。



熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなどの、電波を通さないガラスを使用している車種の場合には受信感度が極端に低下します。

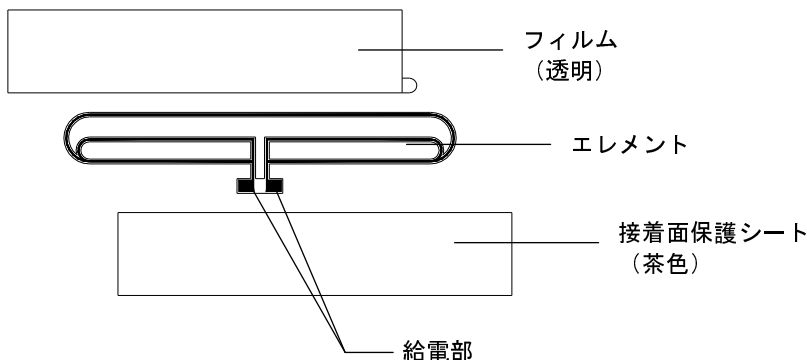
●取付け概略完成図<車内から見た図>



- フィルムアンテナは、フロントウインドウ車内側の助手席側に貼り付けて下さい。
- フィルムアンテナは、点検整備済ステッカー・検査標章などと重ならないように貼り付けて下さい。

アンテナの貼り付け方法 (つづき)

●フィルムアンテナの構成



- フィルムと接着面保護シートの間に、エレメントがはさまれています。エレメントの広い部分が給電部です。
- 一度貼り付けると貼り直しができませんのでコードの引き回し等を十分に検討してから貼り付けて下さい。

●フィルムアンテナの貼り付け手順

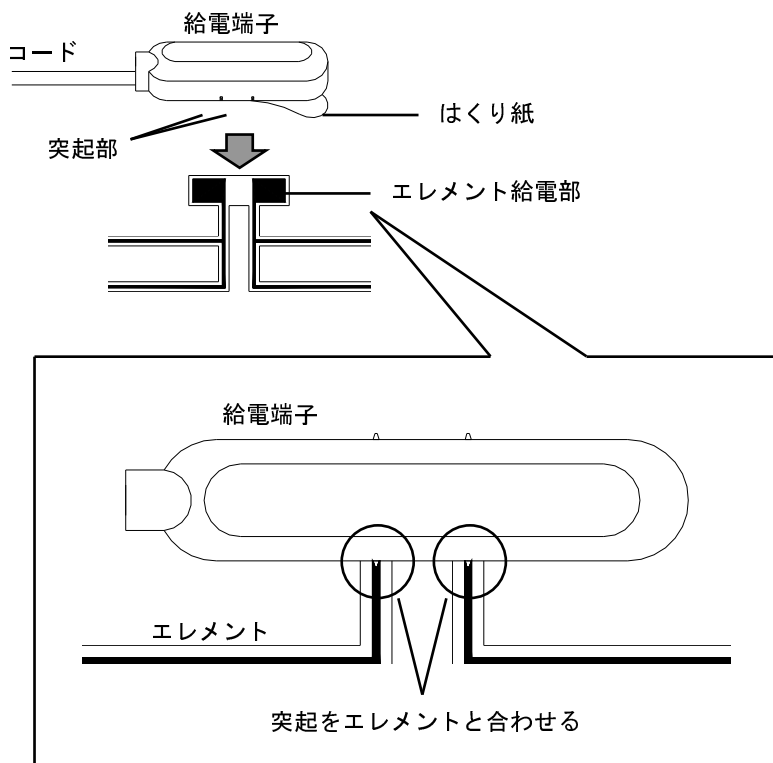
- (1) アンテナ貼り付け面の汚れ (ホコリやゴミなど) をしっかり落として下さい。汚れがあると十分な接着力が得られません。
- (2) フィルムアンテナの接着面保護シート (茶色) をはがす。
フィルムにエレメントが移っていることを確認しながらゆっくりとはがして下さい。
- (3) フィルム (エレメント付) を給電部を上にして貼り付ける
空気が入ったり、しわが寄ったりしないように、端から貼り付けて下さい。一度エレメントがガラスに貼り付くと、貼り直しはできませんので、十分にご注意下さい。
- (4) エレメント上を強く押さえしっかりと密着させる
給電部は気泡が入りやすいので念入りに加圧して下さい。加圧が不足するとフィルムをはがす際にエレメントがはがれたり断線する恐れがあります。
- (5) フィルム (透明) のみをはがす
エレメントがガラスに転写されているのを確認しながらゆっくりとはがして下さい。

アンテナの貼り付け方法 (つづき)

●フィルムアンテナの貼り付け手順 (つづき)

(6) アンテナコードの給電端子をエレメントに取付ける

給電端子のはくり紙をはがして、エレメントと給電端子の突起部を合わせて取付けて下さい。



(7) アンテナケーブルを配線し、本体のアンテナ接続端子へ接続する。

アンテナケーブルを配線し、市販のケーブルクランプや固定用テープなどでしっかりと固定して下さい。

本体へ接続する際には、手で緩まない程度に締め付けてください。締め付け過ぎると本体内部が破損する場合があります。

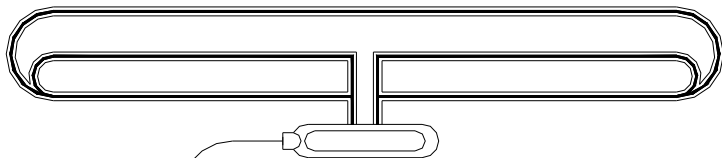
車で移動して受信するため、アンテナの取付け位置や、車の場所や方向、速度、トンネルやビルなどの状況により受信状態が悪くなる場合があります。

接続方法



取付けの際には、車のキースイッチをOFF状態でバッテリーのマイナス端子を外して下さい。

●フィルムアンテナ (付属)



●アンテナコード (付属) 5.0m

しっかりと接続して下さい



付属のアンテナは、前方の視界を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には、取付けしないで下さい。事故やけがの原因となります。

リモコン受光部をふさがないように設置して下さい

●リモコン受光部コード (付属) 3.0m

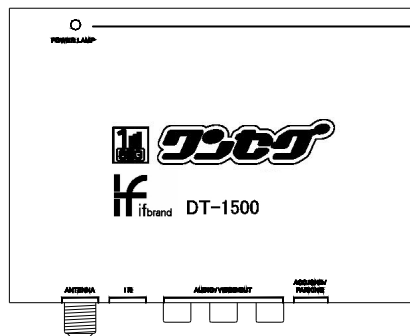
しっかりと接続して下さい

※テレビあるいはモニターに接続 (別売)



外部映像・音声入力端子のあるテレビあるいはモニターに接続して下さい
(黄色：映像／赤・白：音声)

●本体上面



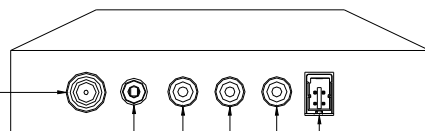
電源表示ランプ

緑色・・・車のACC「ON」の状態
オフ・・・車のACC「OFF」の状態



車のACCをオンにしたあとにリモコンで本体の電源を入れて下さい。

●本体前面



電源用コードは、カチッと音がするまで、しっかりと差込んで下さい。

●電源用コード (付属) 2.3m

灰色：パーキングブレーキ入力
(パーキングブレーキを引くとアースへ落ちるラインへ接続)

黒色：ボディーアース
車体の金属部分へ接続して下さい

●ヒューズボックス

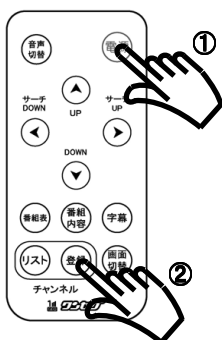
1 A 以外は使用しない

赤色：DC 12 V
ACCへ接続して下さい

●映像・音声コード (付属) 2.0m

チャンネルの設定

- 1** “電源” ボタンを押して電源を入れ“チャンネル登録” ボタンを押します。チャンネルをサーチしてお住まいの地域で受信可能なチャンネルを、自動で登録します。受信可能なチャンネルが見つかったら、リモコン番号が表示されます。

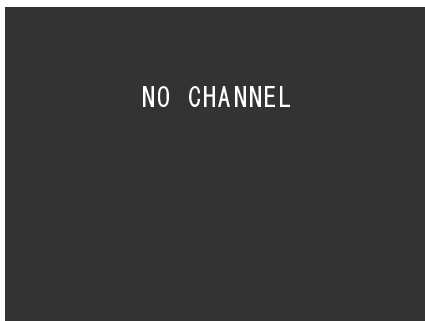


- チャンネル登録が完了すると、自動的にリモコン番号の小さい順番に並び換わります。
- チャンネル登録を行う場所によっては、複数の放送局が、同じリモコン番号で受信できる場合があります。(県境など)

- 2** 登録が完了すると、登録されたチャンネル映像が表示され、画面上部には放送局名とリモコン番号が表示されます。



3 登録可能なチャンネルが見つからない場合には“NO CHANNEL”と表示されます。



- 移動しながら登録を行うと、受信状態によっては登録できない場合があります。その場合にはいったん車を停止させ、改めてチャンネル登録を行って下さい。
- チャンネル登録を行うと、すでに登録したチャンネルはすべて消えますのでご注意ください。
- 引越しなどで受信地域が変わったときや、再設定したいときは改めてチャンネル登録ボタンを押して下さい。

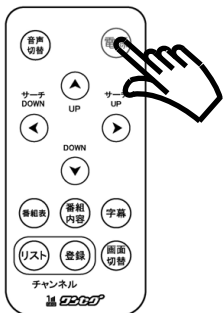
リモコン番号と物理チャンネル

チャンネル登録中に表示される数字は“リモコン番号”と呼ばれ、それぞれの地域の放送局に割り当てられています。それに対し、今まで呼ばれていたチャンネルは“物理チャンネル”と呼ばれ、地上デジタル放送は13～62chまでを使用しております。

本製品では画面右上にリモコン番号を表示します。県境などで複数の放送局が同じリモコン番号で受信できた場合には、リモコン番号のあとに“－1”“－2”と枝番が表示されます。

テレビを見る

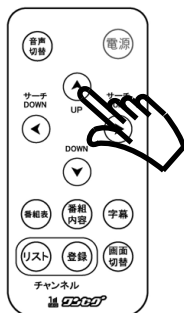
1 “電源” ボタンを押して電源を入れます



- ご購入後初めてお使いになる場合はチャンネルの設定（20ページ）に戻りチャンネル登録を行って下さい。
- ACCを「ON」にした後は“電源”ボタンを押して本体の電源を入れてからご使用下さい。

2 “チャンネルUP/DOWN” ボタンで選局する場合

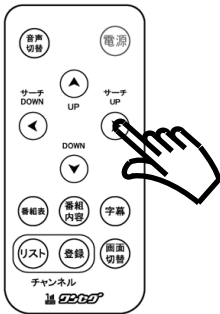
チャンネル登録がされている場合、“チャンネルUP/DOWN” ボタンを押して登録されたチャンネルを切り換えます。



- 画面上部には放送局名とリモコン番号が表示されます。
- 複数のチャンネルが登録されているときにのみ、“チャンネルUP/DOWN” ボタンが動作します。
- 1つのチャンネルのみ登録されているときには動作しません。

3 “サーチUP/DOWN” ボタンで選局する場合

登録されたチャンネル以外の放送を受信したい場合には、“サーチUP/DOWN” ボタンを押します。



- 受信可能なチャンネルで自動的に止まり、受信映像が表示されます。(放送局名は表示されません)
- サーチが一巡しても受信可能なチャンネルが見つからない場合には、“NO CHANNEL”と表示されます。

<ご注意>

- ワンセグは携帯機器用の放送のため、接続するテレビやモニターの画面の大きさによって多少画面が粗くなります。
- 地上デジタル放送の双方向サービスはご利用できません。
- 地上デジタル放送のデータ放送、緊急警報放送は受信できません。
- 選局後、映像と音声の出力までに若干時間がかかります。

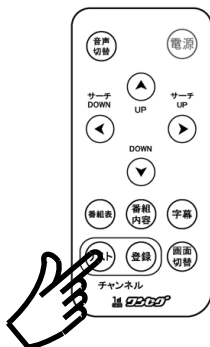
チャンネルメモリー

本製品ではチャンネル登録されたあとに、最後に見ていたチャンネルデータをメモリーしています。一度電源を切ったあとに再び電源を入れると、前回見ていたチャンネルで起動します。サーチUP/DOWNによって受信したチャンネルはメモリーされません。

チャンネルリストを見る

1 “チャンネルリスト” ボタンを押します

チャンネル登録によって登録されたチャンネルのリストが表示されます。
もう一度ボタンを押すと表示が消えます。



チャンネルリスト	
1 c h	NH K総合
1 c h	NH K教育
2 c h	NH K総合
3 c h	放送局名 1
4 c h	放送局名 2
5 c h	放送局名 3
6 c h	放送局名 4
7 c h	放送局名 5

2

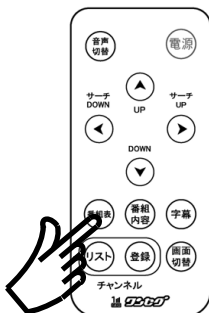
チャンネルリストを表示中に“チャンネルUP/DOWN”ボタンを押すとページ切替えができます。

- チャンネル登録されていない場合は何も表示されません。
- チャンネルリストは1ページに最大7局まで表示されます。
- サーチUP/DOWN選局したチャンネルは表示されません。
- チャンネルリスト上で選局はできません。

番組表を見る

1 “番組表” ボタンを押します

現在見ているチャンネルの番組表が表示されます。もう一度ボタンを押すと表示が消えます。



番組表	
1 c h	NH K総合
月日(*)	**番組名1**
:*:* **:*:	現在見ている番組
:*:* **:*:	**番組名1**
	現時間帯の番組
:*:* **:*:	**番組名2**
	次時間帯の番組

- 表示内容 上段 : 現在見ている番組
- 中段 : 現時間帯に放送している番組
- 下段 : 次時間帯に放送予定の番組

2

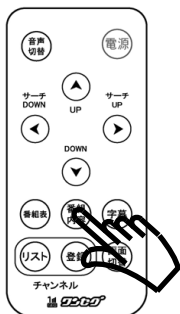
番組表を表示中に“チャンネルUP/DOWN”ボタンを押すと、ページ切替えができます。

- 番組表を表示するまで“データ取得中”と表示されます。
- データの取得から表示まで時間がかかる場合があります。
- データ取得できない場合には“データが取得できませんでした”と表示されます。
- サーチUP/DOWNで受信したチャンネルの場合には、放送局名は表示されません。

番組内容を見る

1 “番組内容” ボタンを押します

現在見ている番組の内容が表示されます。もう一度ボタンを押すと表示が消えます。



- 番組内容を表示するまで“データ取得中”と表示されます。
- データの取得から表示まで時間がかかる場合があります。
- データ取得できない場合には“データが取得できませんでした”と表示されます。
- サーチUP/DOWNで受信したチャンネルの場合には、放送局名は表示されません。

音声を切り替える

1 “音声切替” ボタンを押します

“音声切替” ボタンを押すと画面右上に音声の状態が表示され、ボタンを押すごとに音声切り替わります。



- ステレオ放送の場合（ステレオ／モノラルの切り替えはありません）

Main1 → Sub1 → Main/Sub1 → Mute
↑

- 二カ国語放送の場合

Main1 → Sub1 → Main/Sub1 → Mute
↑

- マルチ音声放送の場合（音声1、音声2がある場合）

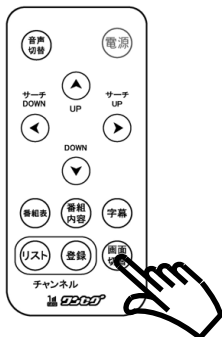
Main1 → Sub1 → Main/Sub1 → Main2
→ Sub2 → Main/Sub2 → Mute
↑

- 音声状態は、本体電源をOFFにすると“Main1”に戻ります。
（チャンネル切り換え時は状態を維持します）

画面を切り替える

1 “画面切替” ボタンを押します

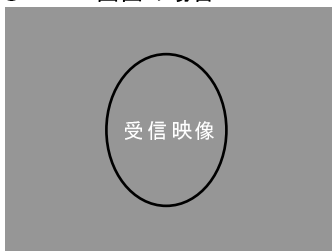
ボタンを押すごとに画面をノーマル⇄ワイドと切り替えます。



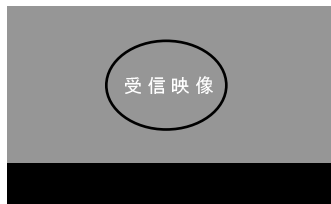
画面状態メモリー

本製品では、画面の状態をメモリーしていますので、一度電源を切ったあとに、再び電源を入れると、前回の画面状態で起動します。

● 4 : 3 画面の場合



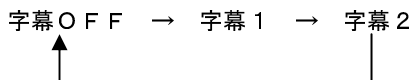
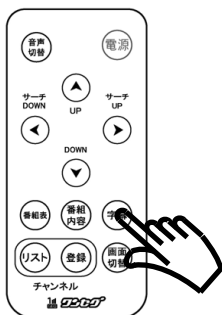
● 16 : 9 画面の場合



字幕を表示する

1 “字幕” ボタンを押します

“字幕” ボタンを押すと画面左上に字幕の状態が表示され、ボタンを押すごとに字幕が切り替わります。



ノーマル画面



ワイド画面



- ノーマル画面の時には、字幕の背景は半透過になります。
- チャンネルリスト・番組表・番組内容を表示している際にも、字幕を表示することができます。その際には同時に画面表示されます。
- データの取得から表示までに時間がかかる場合があります。
- 字幕放送がされていない番組を受信している場合には表示されません。

故障かなと思ったら

故障かな？とお思いのときは、修理をご依頼される前に次の点をお調べ下さい。
それでもなお異常があるときは、使用を中止してお買い上げの販売店にご連絡下さい。

症状	原因と処置	ページ
電源が入らない (映像も音声も 出ない)	電源ケーブルはきちんと接続されていますか？ → 接続を確認して下さい。 エンジンはかけていますか？(ACCオン) → エンジンをかけて下さい。(ACCオン)	18・19 ページ —
リモコンが 操作できない	リモコンを初めてご使用になるときは、透明な シートを引っ張り、取り外してから、ご使用に なって下さい リモコンの電池が消耗していたり電池の極性が 違っていませんか？ リモコンを受光部に向けて操作していますか？ リモコンと受光部の間に障害物があったり距離 がはなれすぎていませんか？ 受信異常により、本製品の操作ができなくなる 場合があります。 → 一旦エンジンを切り (ACCオフ)、再度 エンジンをかけて下さい。(ACCオン)	13ページ 11ページ 13ページ 13ページ —
電源を入れたと きに「ブツッ」 と音がする	本製品の電源を入れたときに、接続したテレビ またはモニターのスピーカーから「ブツッ」と 音がする場合がありますが、製品の故障または 異常ではありません。	—
電源を入れても 映像がすぐに 出ない	本製品は、電源を入れてもソフトウェアが起動 して映像を表示するまでに、時間がかかる場合 があります。	—

症状	原因と処置	ページ
映像が出ない (音声は出る)	パーキングブレーキ入力に信号を接続している場合、パーキングブレーキをかけないと、映像出力端子から信号が出力されません。	18・19 ページ
映像も音声も 出ない (青い画面の まま)	アンテナがきちんと接続されていますか？ → 接続を確認してください。 受信エリアにありますか？ 受信できない状態になっていませんか？ → 車の場所や方向、速度により、受信状態が 変化します。一旦車を止めて受信できるか 確認して下さい。	18・19 ページ — —
地上デジタル 放送が 受信できない	車のある場所は、地上デジタル放送のエリア内 ですか？ ワンセグ放送以外の地上デジタル放送は、受信 できません。 データ放送、緊急警報放送は受信できません。	— — —

■本製品はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。その場合は、リモコンで本体の電源を一旦切り、再度入れなおすか、一旦エンジンを切り（ACCオフ）再度エンジンをかけなおして下さい。（ACCオン）

製品仕様

本体

品名	車載用ワンセグデジタルチューナー
型番	D T - 1 5 0 0
使用電源	D C 1 2 V
消費電力	1. 5 W (動作時)
使用温度範囲	- 5 ° C ~ + 5 0 ° C
保存温度範囲	- 1 5 ° C ~ + 6 0 ° C
放送方式	地上デジタル放送ワンセグ (日本国内専用)
受信チャンネル	1 3 c h ~ 6 2 c h (U H F)
接続端子	●アンテナ入力端子 : F型コネクター (アンテナ電源付) ●入力レベル : - 9 0 d B m ~ 0 d B m ●出力端子 : R C A ジャック ●出力レベル : 映像 (1 . 0 V p - p) : 音声 (1 1 0 m V r m s) ●電源端子 : 専用4ピンコネクター ●リモコン端子 : 3 . 5 φ 4 極ジャック
外形寸法	1 2 3 (W) x 8 9 (D) x 2 3 (H) m m (突起部を除く)
質量	3 1 5 g (本体のみ)

リモコン

使用電源	D C 3 V (C R 2 0 2 5 、 1 個使用)
操作距離	約 3 m 以内 (リモコン受光部正面距離)
外形寸法	4 0 (W) x 8 6 (D) x 7 (H) m m (突起部を除く)
質量	1 8 g (電池含む)

●本製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが
ご了承下さい

●保証書

保証書は、本取扱説明書の裏表紙に添付されています。

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと、大切に保管して下さい。

保証期間
お買い上げの日から1年間です

●修理を依頼されるときは

車載用ワンセグデジタルチューナーの、取扱説明書「故障かなと思ったら」をご覧ください。調べていただきなお異常のあるときは使用を中止しお買い上げの販売店に商品と保証書をご持参のうえ修理をご依頼下さい。

株式会社トライウィン・サポートセンター

〒331-0812

埼玉県さいたま市北区宮原町1-677

TEL 0570-030-100

受付 10:00~18:00

休日 土・日・祝・祭日

E-Mail support@trywin.co.jp



メモ



メモ

【 車載用ワンセグデジタルチューナー保証書 】

<無料修理規定>

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には無料修理をさせていただきます。原則的に持込修理となります。
 - 無料修理をご依頼になる場合には、商品に本書を添えていただき、お買い上げの販売店または、株式会社トライウイン・サポートセンターまでお申し付け下さい。
- 保証期間内でも次の場合には原則として有料とさせていただきます。
 - 使用上の誤り及びび不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - お買い上げ後の取付け場所の移設、輸送、落下、取付け不備などによる故障及び損傷。
 - 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷。
 - 船舶等に搭載された場合に生ずる故障および損傷。
 - 業務用として使用された場合に生ずる故障および損傷。
 - 本書のご添付がない場合。
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句などを書き替えられた場合。
 - 持込修理の対象商品を直接窓口へ送付した場合の送料等は、お客様のご負担となります。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管して下さい。

型名	DT-1500	製造番号
お客様	お名前	
	ご住所 〒 —	
	電話番号 () —	
お買い上げ日 年 月 日	販売店名・住所・電話番号	
保証期間（お買い上げ日から） 本体 1 年間		

* 太線枠内はお客様にてご記入願います。

- * お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控）は、保証期間内の無料修理対応及び、その後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承下さい。
- * この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、株式会社トライウインサポートセンターまでお問合せ下さい。

株式会社トライウイン・サポートセンター

埼玉県さいたま市北区宮原町 1-677 TEL : 0570-030-100 E-Mail : support@trywin.co.jp